



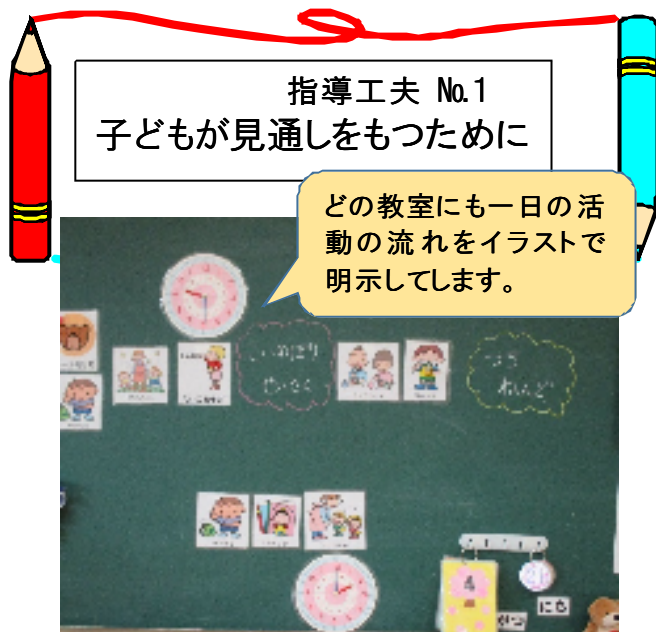
入園・進級の今
あらためて考えましょう。

幼稚園って何するところ？

つつじの花がほころび始めました。幼稚園では、給食が始まり、いよいよ本格的な保育に入ります。この2週間、子どもたちは新しい環境に戸惑いながらも少しずつ園生活に見通しがもてるようになってきました。落ち着いて絵本の読み聞かせを聞き入る姿や園庭でのびのび全身を使って遊ぶ姿も多くみられるようになりました。

それにしてもこの間、大活躍したのは年長児です。泣いている年少児に対応する教員のそばで、年長組さんが落ち着いて他の年少さんの手をひいて導いてくれています。異年齢とのかかわりの重要性が見える瞬間です。幼くても、自分より弱くて小さな存在には愛情を感じることができるのですね。自分のことだけするのではなく、誰かのために「お世話」することで、強くやさしい心が育っていきます。

ところで、幼稚園って何をするとおところでしょう？幼稚園は、お家の中からはじめて「小さな社会」へでる場所です。大人になり社会にでると否応なくさまざまな人と仕事をしなければなりません。そのときにいいパフォーマンスをするには、人間の幅が必要になります。その原点は幼稚園時代にはぐくまれるのです。



子どもが自分の生活に見通しをもち、すすんで行動できるようにするため、活動がわかるイラストの掲示物を活用しています。少しずつですが、黒板を意識して動く子どもが増えてきました。

「次は外遊び」「その次はトイレだな」などと、自分の生活をコントロールする力や我慢する力が育ってきます。今年も、3歳児から全学年・全学級で取り組んでいきます。

英語遊びが年長組から始まりました。
マイネーム イス () を楽しい雰囲気でもどの子も言えるようにと、何度も繰り返し繰り返し話していました。お家でも「ファッツユアネーム？」聞いてあげてください。



年少組の子どもたちも落ち着いてお話を聞ける場面が増えてきました。

